

校内研修支援研修「授業における電子黒板等の活用」
具志頭小学校・白川小学校にて実施

島尻教育研究所の校内研修支援事業では、「授業における電子黒板やタブレット端末等の効果的な活用についての講義及び演習等をとおして、全職員の協働体制による校内研修の充実に資する」ことを目的として、沖縄女子短大児童教育学科講師小林祐一氏を具志頭小学校、白川小学校に講師として派遣し、研修会を行いました。

文部科学省発行の「授業がもっと良くなる電子黒板活用」を参考に、ICTの活用場面を想定した後、他校の実践例を参考に、「ICT活用動画」をグループに分かれて作成しました。各グループで、アイデアを出し合い、2学期の授業等に活用できる動画を作成しました。

グループワークを取り入れた実践型の研修となりました。



写真1 具志頭小学校での研修の様子

実施校と研修内容

- 八重瀬町立具志頭小学校 【7月24日(金) 14:00～16:00】
- 八重瀬町立白川小学校 【7月29日(水) 14:00～16:00】

- 1 自己のICTの活用場面の振り返り
- 2 他校の実践を参照・分析
- 3 本校の「ICT活用動画」を作成(グループワーク)
- 4 「ICT活用動画」を全体で共有
- 5 まとめ



写真2 白川小学校での研修の様子

研修後の感想(アンケートから)

- ICTの有効な活用法を知ることで、より情報を深めることができました。他学年の先生方の活用の仕方を共有することで多様な活用方法が分かり、これからの授業に役立てたいと思いました。(具志頭小 教諭)
- ICT活用は苦手でしたが、いろいろな学年の活用の仕方を見て、自分も活用してみたいくなりました。(具志頭小 教諭)
- ICTの活用は手段であり、何を目的として展開するかが重要だということ、どう活用していくかが大切だということを知ることができました。(白川小 教諭)
- 異学年の先生方との情報交換で書画カメラや電子黒板の活用方法が多岐にわたっていることを知り、びっくりしました。少しずつですが、マスターできるようにできる方から教えてもらって頑張りたいと思います。(白川小 教諭)